

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	根羽村文化財継承保存事業
事業主体 (連絡先)	根羽村
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,044,440 円

事業内容

文化財の保存及び継承の目的で事業を実施しました。当村は歴史的背景から三河地方を中心とした文化、風習の影響が強く現在も根強く残っています。そのような中で貴重な文化財も数多く残されています。史実にものづくものや言い伝えとして残っているものも含め、これらの貴重な財産を後世に引き継ぐことが重要と考え実施しました。継承するには幼少期に文化財に触れること、専門用語が多く専門家の研究対象として使われる印象を払拭し、文化財は地域の宝という共有の認識を持つことが必要であると考えました。文化財調査委員会と数多くある指定文化財の中でも重要と思われるものを精査し、専門的な用語の解説や、その文化財に関係する資料を挿みながら作成しました。ナレーターによる対話形式とし見る方が理解しやすいよう努めました。作成した映像はCATVで放映したり、小中学校へ配布をしました。



【撮影の様子】

事業効果

- ・洞（地区）別に作成することで、住民が自分の洞の中で共有認識を持つことができ、担い手の育成につながった。
- ・完成DVDをCATVなどで放映することで、村民が文化財のもつ歴史的背景を学び文化財の重要性を再認識した。
- ・小学生の特別授業の教材とし、小さなうちから文化財の正しい認識を持つことで郷土理解を育むことができた。
- ・根羽村文化財の背景の持つ意味を途絶えさせないよう記録映像として残すことができた。

今後の取り組み

今回製作したDVDにより、小中学校の地域を学ぶ授業での利活用、後継者の育成の教材として使用していきたい。また「塩の道」「三州街道」「遠州街道」の結節地であり現在の国県道沿いの地域とは古くからゆかりがあり、これをきっかけに地域間交流の促進、共同での調査研究のきっかけにしたい。

【目標・ねらい】

①当村では、人口減少、高齢化が急速に進み文化財の由来や背景はもちろん、場所の特定も含めて正確な知識やノウハウを持つ者が少なくなっており文化財の知識の継承が課題となっているため、史実に基づくものはもちろん、言い伝えとして継承されているものも含め、当村の重要な文化財の理解を深め後世に引き継ぐことを目的とする。

※自己評価【 C 】

【理由】

当初、各洞への説明会を実施する予定であったが、撮影時の悪天候などが重なり、撮影日が大幅に遅れたため実施できなかった。